

【レポート】

上下水道事業に携わる者として、市民に安全で安心できる飲料水を供給し続けるため、水質保全や自然環境の保全等について地域住民に理解を深めてもらうことを目的として、ブルーウォーター行動に取り組んでいく。

ブルーウォーター行動

— 山口県ブルーウォーター実行委員会の取り組み —

山口県本部／山口県上下水道労働組合

1960年代に社会問題となった公害（水質汚濁）を受けて、全水道は「ブルーウォーター作戦」と名付けて、全国的な取り組みを開始し、1980年代には、各地でダム建設やゴルフ場、産廃処理場建設問題が発生したことから、全水道中国地本でも水政策研究集会などを開催し、対策に取り組んできた。また、山口県においても1989年の「小野湖畔ゴルフ場建設反対の闘い」をはじめ、水質保全、自然環境の保全に取り組んできた。

過去の時代と比べれば、現在では、産業公害に起因する水質汚濁は大きく改善されたが、水を汚す大きな原因のひとつである生活排水の発生は、私たちが生活していくうえで避けられないものである。そのため、一人一人が少しでも「川や海を汚さない」という意識を持つことが大変重要になってくる。山口県ブルーウォーター実行委員会は、上下水道事業に携わる者として、市民に安全で安心できる飲料水を供給し続けるため、水質保全や自然環境の保全等について地域住民に理解を深めてもらうことを目的として、ブルーウォーター行動に取り組んでいく。

SDGsにおいても「安全な水とトイレを世界中に」という目標が設定されているが、私たちが取り組んできたブルーウォーター行動については、水道法に定められた「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する」ため、これまで先人が懸命に取り組んできたものである。この想いは全国的にも広まり、2014年に「水循環基本法」が制定されるに至った。

水循環基本法制定までの道のり

水道・下水道労組である全水道では、1998年から「水基本法（仮称）」について検討を開始し、2000年には「水環境を統一統合した水基本法を制定し水行政の根幹とすること」という政策要求を行った。さらに2001年には「水基本法案」を提言し、それ以降、全水道水政策の中心課題としてきた。また、同時期に、自治労公営企業評議会において、「水基本法（仮称）」の草案が起草されていた。その後、全水道と自治労は連合のもとに結集し、2001年には連合における「2001－2003年度 政策・制度要求と提言」において水基本法の制定を求め、それ以降も、関係組織と意見交換を重ねつつ、シンポジウムの開催や政府・政党に対する働きかけなどの取り組みを重ねてきた。水循環基本法成立は、これらの取り組みの成果である。

○具体的な取り組み

- (1) 山口県ブルーウォーター実行委員会加盟単組が連携し、山口県内各地において住民に対する広報活動、教宣物の配布、水源保全活動を行う。
 - ① 各地でのイベントや街頭でのビラ、せっけん配布
 - ② 幼稚園・保育園へせっけんの寄贈
 - ③ 街宣車による広報
 - ④ 水源地（河川、ダム）の清掃活動
 - ⑤ 水道PR動画の作成
- (2) 水道事業管理者並びに首長に対し、水質保全に関する具体的な政策を進めるよう要求書を提出するほか、水循環基本法における国、地方公共団体の責務を認識させ、基本的施策の推進を求める。
- (3) 共闘運動の取り組みとして、山口県労農市民会議主催の「水を考える学習会」について、知識と親睦を深めることを目的に取り組む。
- (4) 山口県ブルーウォーター実行委員会加盟単組において、各地域の情報を共有し、更なる運動の向上に努める。

各支部行動報告

(1) 周南支部

① 要求書提出

2023年7月21日、管理者に要求行動書を提出しました。

② その他の活動

2023年度は新型コロナウイルスの影響で近年実施できていなかった浄水場見学を実施することができました。市内10校以上の小学生が参加し、施設見学をしながら、水道水ができるまでの説明や水資源の大切さの説明を行いました。

ただ、『水の教室』と称した小学校への出張説明会については当局が中止を決め、活動を実施することができませんでした。



(2) 下関支部

① 活動報告

ア 2022年8月20日(土)開催の下水道展にて来場者にビラ・せっけんを配布

イ 連合山口西部地協メーデー会場にてビラ・せっけんの配布、利き水、スーパーボールすくいを実施(県水労宇部支部・山陽小野田支部と合同開催)

ウ 2023年6月3日(土)水道週間行事「長府浄水場施設見学会」にて、ビラ・せっけんを配布

エ 5～6月に下関市内の小学校の施設見学時にビラ・せっけんを配布し、多くの小学生に下関市の水道と水資源の大切さを説明しました。

長府浄水場施設見学の様子



(3) 防府支部



街宣行動の様子①



街宣行動の様子②



施設見学の様子①



施設見学の様子②

(4) 岩国支部

① ブルーウォーター行動（2023年5月19日（金）8時00分～14時30分）

岩国支部では、2023年度も岩国市職員組合の協力を頂き、岩国市労連としてブルーウォーター行動を実施した。朝方には、岩国市役所玄関にて、出勤時の市職員にブルーウォーター行動のビラと粉石鹼を配布し、その後、岩国市長に対して「2023年水道水源の保全に関する要請書」を交渉の場で提出した。提出後、3班に分かれて、錦川上流域から市内各地の支所及び保育園に分かれて訪問行動した。

錦川上流域班では、和木町長に対して「錦川の水質・水源保護に関する要請書」を提出し、錦川流域の環境保護を訴えた。また、ハンドポンプ式の液体せっけんや紙せっけん等のサンプルを贈呈し、和木町庁舎で実際に使用して頂くように促した。その後、岩国市内上流域の各総合支所（美和総合支所・錦総合支所）にて同様の啓発行動を行うとともに、各総合支所での自然環境保全に対する取り組みについて意見交換をした。各総合支所では、錦川流域の清掃活動に力を入れており、市労連、岩国支部また岩国市水道局としても参加できるように情報提供を依頼し、水質保全の前進を図っていく事とした。また、訪問した錦川上流域保育園2施設及び和木町保育園についても園児への石鹼サンプル及び環境問題に関する絵本の贈呈を行い、ブルーウォーター行動の主旨を説明した。

残り2班である、旧岩国市内班と玖西班でも同様に、各総合支所での啓発活動、保育園への石鹼サンプル及び環境問題に関する絵本の贈呈を行い、2019年度活動以来の絵本の読み聞かせを2つの保育園で行った。読み聞かせの際に自治労の水週間キャラクターの着ぐるみと一緒に行動したが、大変好評だった。2024年度は岩国市の着ぐるみなども使用できないか交渉してみて、読み聞かせの数を増やせないか考えていきたい。



岩国市役所玄関前でのビラ配付行動



『水道水源の保全に関する要請書』の提出



各総合支所へ錦川の水質・水源保護に関する要請行動



各保育園へのサンプルの配布行動

(5) 山陽小野田支部

① 石けん、ビラの設置行動

水道局、交流センターへ石けん、ビラ設置

設置期間 2023年5月26日（金）～6月29日（木）

市民への啓発を目的として、当局を通じ市内交流センター・水道局の計13ヶ所に、粉石けん及び固形せっけんとビラのセットを設置

設置期間 2023年6月3日（土）4日（日）

コロナ感染拡大防止の為、積極的な啓発行動はできなかったが、設置した石けん・ビラは全て配布することができた。



水道展での石けん、ビラ設置

② 水政策統一要求書の提出

2023年5月26日（金） 管理者へ提出



(6) 光市水道労働組合

① 島田川清掃

実施日：2022年10月22日（土）

職員に加え、ご家族にも参加していただき、島田川の清掃作業を行いました。

清掃後はイベントを実施し、職員・家族と親睦を深めました。



清掃の様子



集められたごみ



イベントの様子



参加者全員での記念撮影

② 街宣行動

実施日：2023年5月23日（火）

16時～17時の間、市内大型スーパー2か所にて、執行部・青年女性部で来店者へ粉石けんとチラシの配布を行った。

（約200セット配布）



チラシ配りの様子

③ 紙芝居上演

実施日：2023年5月9日（火）～6月6日（火）

青年女性部が、市内全ての幼稚園・保育園（計17ヶ所）を2人1組で訪問し、手作りの紙芝居を上演した。また、参加した子どもに環境に優しい手洗い石けんとチラシを配布した。



紙芝居の様子

④ 第23回水道まつり

実施日：2023年6月4日（日） 来場者：約1,200人

光市唯一の浄水場「林浄水場」にて、「100年後も変わらない安心を蛇口から」をメインテーマにイベントを実施した。これは、労使で作る「水政策委員会」で開催が決定され、その後労使を中心に実行委員会を立上げ実施しているイベントである。そのため、組合員には組合より協力を要請し、1ヶ月以上前から業務終了後に準備を行い、前日や当日は全組合員に参加していただき実施している。

新型コロナウイルスの影響により4年ぶりの開催となったが多くの市民の方に参加していただき、盛大な水道まつりとなった。

イベントでは、実際に水柱を上げ行う「配水管の修理実演」や「利き水」、職員で考えた実際の水圧を利用して行うシューティングゲーム「水圧シューティング」等様々な体験イベントをはじめ、廃油を持ってきた来場者へ、青年女性部が作成した廃油液体石けんと抽選券を配布し抽選会を行う「廃油抽選会」などを行った。

また、青年女性部が主となり作成したブースでは、水源涵養機能である森の働きや自然の大切さを学んでもらう「あつまれ かんようの森」などの政策的なことを、遊びを交えて学べるブースや仕事の内容まで幅広く学べるブースを充実させた。

その他にも光市水道局が従事している内容や応急給水の活動内容をパネルにて展示しており、実際に応急給水体験や漏水調査体験も行った。また、現在送水管（φ600mm）の布設替えを行っているため、実際に埋設する送水管へ「タイム送水管」（タイムカプセルのイメージ）と称しコメントを書いていた。

イベントはすべて「水道」「水」「川」「森」に関する内容とした。



オープニング（バルーンリリース）



利き水体験コーナー



青女部ブース



配管修理実演



タイム送水管



水圧シューティング

(7) 宇部支部

① 2022年11月13日 (日)



水源保全 (第3回クリーンウォーキングin小野湖)

② 2023年3月21日 (火)



水源保全イベント (小野湖の日)

(8) 下松支部

① 出前講座

2023年5月29日 9:10~9:55

場所: 花岡小学校

小学4年生の社会科学習にそって、水の資源としての大切さ、水道の便利さ、それらを持続していくことの必要性をパワーポイント及び、2022年に作成した動画を用いて講座を行った。水の入った重たいポリタンクを運んでもらい水道の便利さを実感してもらったり、クイズを途中に入れたり児童が水について考える場を設けながら飽きないように分かりやすい説明を心がけた。



2023年6月9日 11:00~11:30
上下水道事業管理者への水政策統一要求書の提出
及び行動報告



2023年6月9日 13:00~13:30
下松市長へ水源保全に関する要求書の提出
及び行動報告